

令和7年度 第1回普及啓発講演会報告書

1. 日 時：令和7年9月5日（金）10時30分～11時30分
2. 場 所：藤松市民センター
3. 演 題：①在宅療養 ②介護保険 ③とびうめ@きたきゅう （2回連続講座第1回）
4. 講 師：門司在宅医療・介護連携支援センター 鶴 智子
5. 参加者：地域住民12名、市民センター職員2名（館長1名、職員1名）、職員2名
6. アンケート結果（回収9名）
 - （1）性別：男性（1名）、女性（8名）
年代：60代（1名）、70代（4名）、80代（4名）
 - （2）本日の内容について
わかりやすかった（8名）、いくらかわかりやすかった（1名）
【理由】・在宅療養にいろんなスタッフが訪問してくださるので安心です。
・一人暮らしをしているので、老後のことは心配していましたがいろいろな選択肢があることがわかりました。よく考えてみたいと思います。
・実話があり、理解できました。
・説明が簡単で聞きやすい声、話し方でした。
 - （3）あなたは、在宅療養を受けてみたいと思いますか？もしくは、ご家族等に勧めてみたいと思いますか？ はい（7名）、いいえ（0名）、わからない（2名）
【理由】
・施設に入所中の妹が自宅にもどりたいたいと言っています。
・主人に勧めたいと思いました。 ・考え方いろいろだから。
 - （4）あなたは「とびうめ@きたきゅう」をご存知でしたか？
はい（5名）、いいえ（3名）、未回答（1名）
 - （5）①あなたは「とびうめ@きたきゅう」に登録していますか？
はい（2名）、いいえ（7名）
②登録されていない方は、これから登録したいと思いますか
はい（3名）、いいえ（1名）、未回答（5名）
 - （6）その他、ご意見・ご感想がありましたらお聞かせ下さい。
・身元引受人が実子になっているので、兄妹として口をはさめません。
7. 質疑応答
Q：延命治療を拒否するにはどうしたらよいですか。
書面がないとだめですか。
A：ご家族に話し、理解いただいた上でかかりつけ医に相談して下さい。
ご希望がわかるように、書いておくのも良いと思いますと回答した。

